

組立てアングル架台の部材選定例

〔ミニ通信 H.9年9月号の続き〕

部材選定手順

- 手順 1** : 耐震架台が受け持つ重量Wを求める。 $W = \{ \text{ラック自重 (kg/m)} + \text{積載ケーブル重量 (kg/m)} \} \times \text{耐震支持間隔 (m)}$
- 手順 2** : 設計用標準震度 (ks) を決める。ksはカタログ (97-1) 571頁に掲載の選定表0.6、1.0、1.5より選択する。
- 手順 3** : W、ks、高さ (h)、ラック支持幅 (ℓ₁) により選定表から部材選定する。

選定例 下図施工条件を基にアングル耐震架台の部材(a材)選定例を示します。



設計条件

- 吊り高さ (h) = 110cm
- 支持幅 (ℓ₁) = 95cm
- ラック自重 (QR60) = 7kg/m
- ケーブル積載重量 = 50kg/m
- 耐震支持間隔 (ℓ₂) = 6m
- 設計用標準震度 (Ks) = 0.6
- 地域係数 (Z) = 1.0

- (1) アングル耐震架台が受け持つ重量Wを求めます。
 $W = (7+50) \times 6 = 342\text{kg}$
- (2) 部材選定表 (表1, Ks=0.6) から
 $W = 400\text{kg}, h = 110\text{cm}, \ell_1 = 95\text{cm}$ の時の
 アングル耐震部材 (a材) を選定する。

※右表はカタログ(97-1)571頁
 に掲載の選定表より抜粋

耐震架台が 受け持つ重量 W (kg)	部 材 品 番 (a材)		
	吊り高さ h (cm)	支持幅 ℓ ₁ (cm)	
		85	⇕ 95
400	60	50AG300
	110 ⇕	65AG300
	160	75AG300
	210

従って、アングル部材(a材)は65AG300となります。

※不明な点又は詳しくはお近くの営業所へお問い合わせ下さい。